

小中 大雪による農林業被害の復旧支援策は

府と連携して取り組み

市長

問 大雪により山林での倒木被害や、パイプハウスの倒壊が多く発生した。府の補助金もあると考えるが市の支援策は。

府と連携して取り組む。

生産森林組合に公的支援を

市長 山林被害は、間伐材の出材奨励補助事業を有効に活用する。農業関連は補正予算を計上しているが、

問 長引く木材価格の低迷や少子高齢化による後継者不足など危機的な状況である。公益的な機能を持つ森林は今後も維持管理してい

かなければならない。市として支援は出来ないか。
市長 法人税の減免は課題がある。新たな制度の活用に向け努力する。

森林環境税の導入を

問 森林は木材の供給だけ



南風クラブ 小中 昭 議員

でなく、水を蓄え水源を涵養する機能、洪水や土砂災害を防止する機能、CO₂を吸収して地球温暖化を緩和する機能など、公益的な役割を果たしている。森林環境税は30県で導入されているが府では検討中である。淀川水系と由良川水系

の2つの流域を有し、地域の88%が森林の本市として、森林環境税の導入に向け府に對し要望に力を入れるべきと考え

るが。

市長 森林環境税の創出により地方財源として森林を守る原資にすることが重要であると認識している。設立に向けて努力していく。



雪で倒壊したパイプハウス

続き積極的に行う。

広域農道開通、その先は

問 日吉町内から京丹波町の道路行政は。



山下 澄雄 議員

市長 富田胡麻停車場線は早期事業着手に努力する。畑川ダムから「日吉平」への路線も早期完成に向けて進める。



拡幅が待たれる胡麻路切付近

山下

国民文化祭の取り組みは

市長

市民と共に開催できる体制を進める

問 秋の国民文化祭に市民はどのような形で参画をするのか。
市長 先の国体のような町民あがりの取り組み、今日までの継続効果を認め

ている。国民文化祭はまだ知名度も低い。市民の皆さまの協力参加で盛り上げていきたい。これを契機に地域文化の振興、自治発展につなげていきたい。

医療、介護予防対策は

問 疾病予防に軽スポーツの効果認められている。スポーツ少年団や、地域スポーツクラブ等で生涯スポーツの定着化に効果をおげている。一方、小学生が

ら老人までの閉じこもりといわれる人達が参加するためには、体育振興会の取り組みが大切と思うが。
市長 各団体の多面的な取り組みが課題と思う。
教育長 幅広い年代の誰もが参加できる取り組みを、体育指導委員の皆さまと引

高野

利用者の声に沿ったデマンドバスに

市長

試行期間中に十分な対応を考える

問 気軽に使える移動手段がほしいという高齢者等の声を受けて、デマンドバスの試行が始まる。「JR駅やバス停までではなく、病院や買い物に直接行ける便にしてほしい」「今までは1500円で行ったのに、2500円は高い」「足が不

自由なので乗り降りに大変だ。手すりや足元に踏み台を置いてほしい」など、多くの声を聞いている。まずは、利用者の声を大切にすることが必要だ。利用調査だけでなく、地域公共交通会議や振興会、区長会、さらには老人クラブなどの

協議、懇談会を定期的に開き、住民参画を制度として保障することが必要であると考えるが。

市長 当然、試行であるので、どのような形がいいのか、利用者の皆さん方にご意見をお伺いする。



日本共産党市議員団 高野 美好 議員

2500円は高すぎる

問 デマンドバスの運行は、月水金と火木の各エリアに分かれており、毎日走らない計画となっている。市営バスとの整合性は。

予約センターは業者任せにするとしているが、トラブルが起きた場合、市はどう対応するのか。
市長 市営バス運賃より高い運賃としたのはなぜか。
市長 試行期間中さまざまな調整をしながら、よりよいものとしていきたい。

南丹市デマンドバス(タクシー) 美証実験運行開始!

平成23年4月

予約センター (南丹市交通) 0771-23-8000 受付時間 8時~17時

予約方法

予約は、電話・予約センター・インターネット・スマートフォン・FAX・郵便物による受付が可能です。予約は、乗車前日の17時前までに完了してください。

料金

大人 2500円
小人 1500円

運行する車は「バス」ではなく、タクシータイプの車が南丹市デマンドバスのシールを貼って運行します。

お問い合わせ先 南丹市役所 企画課 0771-68-0003

試行されるデマンドバス



非常用設備の設置が待たれる新世紀第二トンネル

大町

るり溪の水質調査は、どこの大学に

市長

京都学園大学に依頼

問 23年度予算に、るり溪通天湖の水質悪化の調査、研究委託費が計上されたがどこの大学に委託するのか。地元は、一度水を抜く事を望んで

いるが、今後どのように進めるのか。
市長 京都学園大学に依頼する。23年度は水質悪化の原因調査、効果的な対策水を抜いたときの影響を含め、専門的見解を受け、検討を進める。



丹政会 大町 功 議員

子育て世代の定住促進と農村地域活性化について

問 人口の減少や過疎高齢化は活力の低下、地域経済や財政にも大きく影響し、地域の存立基盤にかかわる深刻な問題である。定住を促進するため、若い方が市

内に家を新築、購入時に助成金を交付、あるいは固定資産税減額等の優遇制度の制定と、農村への定住を勧め、活性化を図るために「空き家情報バンク制度」を制定し積極的な情報発信を。
市長 若い子育て世代に対する優遇処置も検討課題、

国道477号新世紀第一トンネル内に非常設備を

プロジェクトチームを設置し空き家情報も含め早急に具現化にむけ検討する。
問 非常用電話や消火器が設置されていない。通学路であり、交通量も増えている。早急な設置を望むが。
市長 府に對し、早急な設置を要望していく。